

研究部会趣意書

名称

「ORと数学」研究部会

部会組織（主査、幹事等）

主査：中山慎一（徳島大学大学院 准教授）

幹事：宇野剛史（徳島大学大学院 准教授）

大橋 守（徳島大学大学院 教授）

竹内 博（四国大学 教授）

設立趣意

ORでは、数学を道具として用い、広範な現実の問題を取り組み、色々な分野における意思決定を行っている。その道具として利用して数学の世界では、まったく異なった分野で現れる事象のもとに横たわっている共通の法則性を発見することがある。逆に、ORの手法として開発された数学的技法が、単なる技法というだけでなく、新しい数学や数理科学の萌芽となる場合も存在する。そこで、本研究部会では、OR、数学、数理科学の研究者などを迎え、ORと数学の最新研究を知ることにより、相互における新たな世界構築の可能性について議論する。

対象分野

確率・統計、解析学、幾何学、代数学、最適化理論、グラフ・ネットワーク、スケジューリング、アルゴリズム、計算量理論、経済、意思決定論

研究部会開催計画

年2回以上の開催を予定している。

運営方法（予算含む）

開催の案内は主に支部メーリングリスト等を通じて支部会員へ告知する。予算に関しては、講演謝金4件（10,000円 x 4）を予定している。